

2021 年度公共用水域の水質測定計画（案）の主な変更点

1. 要監視項目の追加

水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等については、令和 2 年 5 月に、要監視項目として、「ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸（PFOS 及び PFOA）」が新たに追加されたため、PFOS 及び PFOA を令和 3 年度から公共用水域の水質測定計画に位置付ける。（P. 4 水質測定項目の表、P. 26 別表 1 - 3、P. 29 別表 1 - 4 に追記）

測定地点、測定回数については、「公共用水域常時監視の新たな効率化及び重点化の基本的考え方」（以下、「効率化及び重点化の基本的考え方」という。）「②要監視項目 ア）計画規定回数」に基づき、原則 2 年間で府域全域の測定を行うこととし、令和 3 年度は 79 地点で測定を実施する。（詳細は次項 3. の表 2 測定地点ごとの測定回数の変更内容 参照）

要監視項目及び指針値

項 目	指針値（暫定）
ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸（PFOS 及び PFOA）	0.00005mg/L 以下

※PFOS 及び PFOA の指針値（暫定）については、PFOS 及び PFOA の合計値とする。

※要監視項目：人の健康の保護に関連する物質であるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準とせず、引き続き知見の集積に努めるべきものとして、27 項目設定されている。

2. 「効率化及び重点化の基本的考え方」の一部改定

河川調査における 1 日あたりの試料採取回数の変更について、令和 2 年度第 3 回水質部会においてご審議いただき、水質の大きな日内変動が確認されている地点を除き 1 日の採水の頻度を 4 回から 2 回に減ずることにご承認をいただいたところである。

これに伴い、「効率化及び重点化の基本的考え方」を一部改定し、2021 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の参考資料として添付することとする。

改定内容は下表のとおり。

水質測定計画本文（P. 6）6 試料の採取等（3）	
改定前	改定後
なお、流況変動の小さい河川等については、この限りでない。	なお、水質の大きな日内変動がない河川や流況変動の小さい河川等については、この限りでない。
参考資料 P. 52 本文、P. 54 効率化及び重点化のフロー	
改定前	改定後
【河川の流量観測について】 ○流量観測を原則 1 日 2 回、変動の少ない地点は 1 回とする。	【河川の採水回数及び流量観測について】 ○水質の大きな日内変動が確認されている地点を除き、1 日の採水の頻度を 4 回から 2 回に減ずることができる。 ○流量観測を原則 1 日 2 回、変動の少ない地点は 1 回とする。

3. 改定後「効率化及び重点化の基本的考え方」に基づく測定計画の変更

水質等の測定について、「効率化及び重点化の基本的考え方（上記のとおり今部会で改定予定）」に基づき、過去の検出状況等から判断し、次のとおり測定回数を変更している。

(1) 水質

水質測定における変更内容は表1に示すとおりである。

表1 水質測定における変更内容

				2021年度測定地点数 (2020年度測定地点数)		河川 139 (139)	海域 22 (22)
項目区分	測定回数 の変更内容	変更理由	項目名	変更地点数 【変更項目測定回数 (項目数×測定回数)】		2021年度項目測定回数 (2020年度項目測定回数)	
				河川	海域	河川	海域
生活環境項目	増加	① 重点化 (過去の検出状況等から判断し回数を増やすもの)	全亜鉛	2 【+10】	—	12,090 (13,177)	2,510 (2,542)
	減少	② 効率化 (過去の検出状況等から判断し回数を減らすもの又はローリング調査に移行するもの)	大腸菌群数、ノニルフェノール、LAS	6 【-36】	4 【-32】		
		③ 効率化 (計画規定回数に合わせて回数を減らすもの)	pH、DO、BOD、COD、SS、全窒素、全りん、全亜鉛	6 【-53】	—		
		④ 効率化 (1日の採水回数の変更により回数を減らすもの)	pH	55 【-1,008】	—		
健康項目	減少	⑤ 効率化 (過去の検出状況等から判断し回数を減らすもの)	カドミウム、全シアン、鉛等の19項目	3 【-44】	—	7,293 (7,305)	711 (712)
	減少	⑥ 効率化 (計画規定回数に合わせて回数を減らすもの)	カドミウム、全シアン、鉛等の13項目	6 【-76】	—		
	増加	⑦ 既存のローリング調査により増減するもの	カドミウム、全シアン、総水銀等の26項目	8 【+153】	5 【+225】		
	減少		カドミウム、全シアン、総水銀等の23項目	1 【-45】	6 【-226】		
特殊項目	増減なし	⑧ 効率化 (過去の検出状況等から判断しローリング調査に移行又は回数を減らすもの)	銅	—	1 【±0】	2,876 (2,877)	2,671 (2,667)
	減少		フェノール類、銅、溶解性鉄、溶解性マンガン、全クロム、陰イオン界面活性剤	3 【-10】	—		
	減少	⑨ 効率化 (計画規定回数に合わせて回数を減らすもの)	ノルマルヘキサン抽出物質、フェノール類、銅等の11項目	2 【-27】	—		
	増加	⑩ 他の項目に合わせて回数を増減するもの	アンモニア性窒素	1 【+2】	—		
	減少		亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、アンモニア性窒素	3 【-18】	—		
	増加	⑪ 既存のローリング調査により増減するもの	ノルマルヘキサン抽出物質、フェノール類、銅、溶解性鉄、溶解性マンガン、全クロム、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素	31 【+73】	12 【+60】		
減少			19 【-21】	11 【-56】			
特定項目	減少	⑫ 効率化 (上水源水源地域指定解除に伴ない休止)	トリハロメタン生成能	1 【-4】	—	57 (61)	—
要監視項目	増加	⑬ 新規項目の追加	PFOS及びPFOA	79 【79】	—	1,621 (1,654)	—
	増減なし			40 【±0】	—		
	増減なし	⑭ 効率化 (過去の検出状況等から判断し回数を減らすもの又は新規ローリング調査へ移行するもの)	クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン等の31項目	3 【±0】	—		
	減少			6 【-71】	—		
	増減なし	⑮ 効率化 (計画規定回数に合わせて回数を減らすもの)	フェノール、ホルムアルデヒド、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	1 【±0】	—		
	増加	⑯ 既存のローリング調査により増減するもの	クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン等の31項目	61 【+932】	—		
減少	71 【-973】			—			
測定検体数合計(水質)						23,939 (25,074)	5,892 (5,921)

表2 測定地点ごとの測定回数の変更内容

【河川】

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準 標準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準地点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1 該当 番号	
					要監視項目	測定項目	増加	減少			
近畿地整	淀川下流 (1)	B	生物B	枚方大橋 流心	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	枚方大橋 左岸	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	枚方大橋 右岸	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	鳥飼大橋 流心	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	鳥飼大橋 左岸	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	鳥飼大橋 右岸	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	菅原城北 大橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	(2) 淀川 下流	C	生物B	伝法大橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	(2) 芥川	A	生物B	鷺打橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	猪名川上流	A	生物B	銀橋	○	要監視項目	モリブデン	減少	2 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5検体以上(10年間)、指針値以下(不検出)ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)	⑭
		A	生物B	銀橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → 1	新規項目追加	⑬
		A	生物B	軍行橋	○	要監視項目	フタル酸ジエチルヘキシル、モリブデン	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下)(過去10年間不検出)	⑭
		A	生物B	軍行橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → 1	新規項目追加	⑬
	猪名川下流 (2)	D	生物B	利倉橋	○	健康項目	テトラクロロエチレン	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)(過去10年間不検出)	⑤
		D	生物B	利倉橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → 1	新規項目追加	⑬
	石川	B	生物B	石川橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	大和川 中流	C	生物B	河内橋	●	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール、LAS	減少	2 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5検体以上、環境基準値以下。ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)	②
					○	要監視項目	モリブデン	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下)(過去10年間不検出)	⑭
					○	要監視項目	エピクロロヒドリン	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下)(過去10年間指針値の1/2以下)	⑭
					○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬			
D	生物B	遠里小野橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
大阪府	水川無瀬	A	生物A	名神高速 道路高架橋下	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	神崎川	B	生物B	新三国橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
					○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
				●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④	
	左門殿川	B	生物B	辰巳橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
					○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	安威川	B	生物B	新京阪橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
					○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	大正川	A	生物B	安威川合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
○					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	

測定機関	河川水域名		環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数の変更		変更理由	表1該当番号
	河川名											
大阪府	山田川	—	—	—	安威川合流直前	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	箕面川	AA	生物A	箕面市取水口	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
		A	生物B	府県境	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
	余野川	A	生物A	猪名川合流直前	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
						生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
	田尻川	A	生物A	兵庫県界	○	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	2 → 4	過去の検出状況等に基づく重点化(過去5年間で、環境基準値の2分の1以上検出)	①	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	大一路庫次・山辺川	A	生物A	兵庫県界	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	山辺川	A	生物A	一庫・大路次川合流直前	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	寝屋川(1)	B	生物B	住道大橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	恩智川	C	生物B	住道新橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値の1/2以下)	②	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	石川	B	生物B	高橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	千早川	A	生物B	石川合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	天見川	A	生物B	新喜多橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						健康項目	ほう素	減少	6 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値の1/2以下)	⑤	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	石見川	AA	生物A	新高野橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
飛鳥川	C	生物B	円明橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
梅川	A	生物B	石川合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④		
					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
佐備川	B	生物B	大伴橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④		
					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
東除川	C	生物B	明治小橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④		
					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
落堀川	—	—	東除川合流直前	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④		
今井戸	—	—	大和川合流直前	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④		

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1 該当 番号	
						生活環境項目	pH	減少	48 → 24			日採水回数の変更に伴う減少
大阪府	西除川(1)	B	生物B	狭山池合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
					狭山池流出端	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	王子川	-	-	-	新王子橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	新川	-	-	-	河口水門	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	大津川上流	B	生物B	高津取水口	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	大津川下流	C	生物B	大津川橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値の1/2以下)	②	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	松尾川	B	生物B	新緑田橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	横尾川	B	生物B	築和橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	父鬼川	A	生物B	神田橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	東川横尾	-	-	-	東条橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	津田川	E	-	昭代橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	近木川	B	生物B	厄除橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
		D	-	近木川橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	柘谷川	-	-	-	通天橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
見出川	E	-	見出橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④		
					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
佐野川	E	-	昭平橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④		
					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
雨山川	-	-	-	佐野川合流直前	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④	
住吉川	-	-	-	向田橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④	
田尻川	-	-	-	府道堺阪南線陸橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④	

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1 該当 番号
大阪府	櫻井川	B	生物B	兎田橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		E	—	櫻井川橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ②	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	新家川	-	-	明治小橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	大里川	—	—	河口水門	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	男里川	A	生物B	男里川橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ②	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	金熊寺川	A	生物B	男里橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ②	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	菟砥川	A	生物B	西打合橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ②	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	山中川	A	生物B	東打合橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ②	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	茶屋川	—	—	新茶屋川橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
	番川	A	生物B	田身輪橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	大川	A	生物B	昭南橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	東川	A	生物B	一軒屋橋	○	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
要監視項目						PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
西川	A	生物B	こうや橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④	
					要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
大阪市	神崎川	B	生物B	小松橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		B	生物B	千船橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	寝屋川(2)	D	—	今津橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		D	—	京橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	古川	D	—	徳栄橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	第二寝屋川	D	—	下城見橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		D	—	天王田大橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	分平水路川	D	—	天王田大橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
		D	—	南弁天橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	平野川	D	—	城見橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
				桜宮橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	大川	B	生物B	桜宮橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1 該当 番号	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	減少			
大阪市	堂島川	B	生物B	天神橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	土佐堀川	C	生物B	天神橋	○	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	4 → 12	過去の検出状況等に基づく重点化(過去5年間で、環境基準値の超過あり)	①	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	道川頓堀	B	生物B	大黒橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	正川蓮寺	B	生物B	北港大橋下流700m	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	六川軒家	B	生物B	春日出橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	安治川	B	生物B	天保山渡	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	尻無川	B	生物B	甚兵衛渡	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	木津川	B	生物B	千本松渡	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	木津川(道河)	B	生物B	船町渡	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	住吉川	B	生物B	住之江大橋下流1100m	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
東川横堀	B	生物B	本町橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		
堺市	(西2除)川	D	—	大和川合流直前	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	狭間川	—	—	狭間橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	内水路放	—	—	古川橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	内川	—	—	堅川橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	石津川	D	—	—	新川橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
					石津川橋	○	特殊項目	全クロム	減少	② → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、排水基準値の1/20以下)	⑧
						要監視項目	エビクロロヒドリン	減少	2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値の1/2以下。ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)	⑭	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
					毛穴大橋	●	要監視項目	モリブテン	減少	4 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値の1/2以下。ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)	⑭
	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬						
	百済川	—	—	高入橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	百川舌島	—	—	北条橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	和田川	C	生物B	小野々井橋	○	特殊項目	全クロム	減少	② → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、排水基準値の1/20以下)	⑧	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
陶器川	—	—	百年橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬		

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数の変更		変更理由	表1該当番号
岸和田市	牛滝川	B	生物B	高橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数に基づく変更	③
						生活環境項目(生物)	ノニルフェノール、LAS	減少	12 → 2	計画規定回数に基づく変更及び過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)	②
						健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑥
						特殊項目	ノルマルヘキサン抽出物質、陰イオン界面活性剤	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑨
						特殊項目	フェノール類、銅、溶解性鉄、溶解性マンガ、全クロム	減少	2 → ①	計画規定回数に基づく変更 過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、排水基準値1/20以下)	⑧
						特殊項目	硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニウム性窒素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑨
						特殊項目	りん酸性りん	減少	4 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑨
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
						底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に基づく変更	
	春木川	D	—	春木橋	○	生活環境項目	pH	減少	48 → 24	日採水回数の変更に伴う減少	④
						生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	4 → 1	計画規定回数に基づく変更	③
						健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑥
						特殊項目	ノルマルヘキサン抽出物質、陰イオン界面活性剤	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑨
						特殊項目	フェノール類、銅、溶解性鉄、溶解性マンガ、全クロム	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑨
						特殊項目	硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニウム性窒素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑨
						特殊項目	りん酸性りん	減少	4 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑨
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
						要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド、4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	減少	① → —	計画規定回数に基づく変更	⑮
底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に基づく変更							
豊中市	天竺川	B	生物B	神崎川合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	30 → 18	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	千里川	A	生物B	猪名川合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	30 → 18	日採水回数の変更に伴う減少	④
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	—	—	—	落合橋	●	生活環境項目	pH	減少	16 → 8	日採水回数の変更に伴う減少	④
吹田市	正雀川	—	—	安威川合流直前	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → 1	新規項目追加	⑬

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1 該当 番号
高槻市	榎尾川	B	生物B	磐手社神社	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール、LAS	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)	②
						健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑥
						健康項目	1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑥
						特殊項目	硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニウム性窒素	減少	4 → 2	健康項目の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に合わせて変更	⑩
						要監視項目	クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、クロタロニル、プロピザミド、EPN、ジクロロホス、フェノプロカルブ、イプロベンホス、クロルニトロフェン、トルエン、キシレン、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン、フェノール、ホルムアルデヒド、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	減少	1 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下。ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)	⑭
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	芥川	AA	生物A	塚脇橋	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール、LAS	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)	②
						健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑥
						健康項目	1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑥
						特殊項目	硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニウム性窒素	減少	4 → 2	健康項目の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に合わせて変更	⑩
						要監視項目	クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、クロタロニル、プロピザミド、EPN、ジクロロホス、フェノプロカルブ、イプロベンホス、クロルニトロフェン、トルエン、キシレン、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン、フェノール、ホルムアルデヒド、4-tert-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	減少	1 → ⊖	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下。ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)	⑭
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	女瀬川	—	—	天堂橋	●	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	③
						健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素	減少	4 → 2	計画規定回数に基づく変更	⑥
						健康項目	1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑥
						特殊項目	硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニウム性窒素	減少	4 → 2	健康項目の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に合わせて変更	⑩
						要監視項目	クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、クロタロニル、プロピザミド、EPN、ジクロロホス、フェノプロカルブ、イプロベンホス、クロルニトロフェン、トルエン、キシレン、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン	減少	1 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下。ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)	⑭
						要監視項目	モリブデン、アンチモン	減少	2 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下。ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)	⑭
要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬						

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準	測定項目	測定回数 の変更		変更理由	表1 該当 番号		
高槻市	番田井路	-	-	玉川橋	●	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	③	
						健康項目	1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ	減少	2 → 1	計画規定回数に基づく変更	⑥	
						特殊項目	アンモニウム性窒素	増加	2 → 4	健康項目の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に合わせて変更	⑩	
						要監視項目	クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、クロロタロニル、プロピザミド、EPN、ジクロロホス、フェノプロカルブ、イプロベンホス、クロロニトロフェン、トルエン、キシレン、フタル酸ジエチルヘキシル、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エビクロロヒドリン、全マンガン、ウラン	減少	1 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、指針値以下。ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)	⑭	
						要監視項目	ニッケル	減少	2 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)	⑭	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
枚方市	船橋川	B	生物B	新登橋上流	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	藤本川	-	-	淀川合流直前	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	穂谷川	B	生物B	淀川合流直前	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	黒田川	-	-	西ノ口樋門	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	天野川	B	生物B	淀川合流直前	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	安居川	-	-	淀川合流直前	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
	水出幹口線雨	-	-	市境	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	
茨木市	安上流	A	生物A	桑ノ原橋	○	特定項目	トリハロメタン生成能	減少	4 → 0	上水源地域指定解除に伴ない測定終了。	⑫	
	(2・1)安下流	A	生物B	宮島橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
	茨木佐保川	A	生物A	安威川合流直前	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
	勝川尾寺	A	生物B	中河原橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
八尾市	恩智川	C	生物B	福栄橋下流100m	●	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、基準値の1/2以下。)	⑤	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
	玉串川	-	-	JAグリーン大阪前	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
	楠根川	-	-	新家東橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
	平野川	D	-	-	東竹淵橋	●	生活環境項目	pH	減少	24 → 16	計画規定回数に基づく変更	③
							生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、全窒素、全りん	減少	6 → 4	計画規定回数に基づく変更	③
							要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬
大正川	-	-	-	平野川合流直前	●	生活環境項目	pH	減少	24 → 16	計画規定回数に基づく変更	③	
						生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、全窒素、全りん	減少	6 → 4	計画規定回数に基づく変更	③	
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → 1	新規項目追加	⑬	
寝屋川市	寝屋川	B	生物B	萱島橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	- → ①	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬	

測定機関	河川水域名 河川名	環境基準	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1該当 番号
						要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖		
東大阪市	恩智川	C	生物B	三池橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	第二寝屋川	D	—	巨摩橋	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
				新金吾郎橋	○	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬
	長瀬川	—	—	第二寝屋川合流直前	●	要監視項目	PFOS及びPFOA	増加	— → ⊖	新規項目追加(2年ローリングの開始)	⑬

【海域】

測定機関	水域名	環境基準	水域名(金・全りん)	環境基準(金・全りん)	水域名(水生生物の保全)	環境基準(水生生物の保全)	測定地点	環境基準点	測定項目		測定回数 の変更		変更理由	表1該当 番号
									生活環境項目	大腸菌群数	減少	12 → 4		
大阪府	海城アイロ	-	-	-	-	(A-6,7,10,11)	◎	生活環境項目	大腸菌群数	減少	12 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)		
堺市	大瀬川	-	-	-	-	S-1	●	特殊項目	銅	減少	1 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、排水基準値の1/20以下。ローリング調査に移行。2年ローリングとする。)		

※1 既存のローリング調査による変更以外を記載。

※2 「測定回数の変更」の丸囲み数字(①◎)は数年に一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、—は測定しないことを示す。

※3 「環境基準点」の◎印は環境基準点、●印は準基準点を示す。

(2) 底質

底質測定における変更内容は表3に示すとおりである。

総水銀及びPCBについて、河川2地点において計画規定回数に合わせて測定回数を減少させる。(ローリング化。ただし、1地点は2021年度に測定するため増減なし。)

表3 底質測定における変更内容

項目区分	測定回数 の変更内容	変更理由	項目名	変更地点数 【変更項目測定回数 (項目数×測定回数)】		2021年度項目測定回数 (2020年度項目測定回数)	
				河川	海域	河川	海域
健康項目 一般項目	増減なし	効率化 (計画規定回数に合わせて回 数を減らすもの)	総水銀、PCB	1 【±0】	—	56 (58)	110 (110)
	減少		総水銀、PCB	1 【-2】	—		
	増加	既存のローリング調査により 増減するもの	カドミウム・全シアン・鉛・pH 等の15項目	10 【+20】	5 【+110】		
	減少		カドミウム・全シアン・鉛・pH 等の15項目	10 【-20】	5 【-110】		